科目コード	記号	科　目　名	学年	単位・時間	必修・選択	授業形態	単位種別
3144	EG02-1	国語Ⅱ(現代文・漢文)　:　Japanese Ⅱ	2E	2・90分	必修	講義・通年	履修単位
教員名	岩城賢太郎：IWAGI　Kentarou						

授業概要

随想や評論などの説明的文章や、小説などの文学的文章を、客観的に分析し、読解する訓練を重ねる。その上で、文章に対する個々人の意見をまとめたり、鑑賞を深めてゆく。

詩歌や漢文について、修辞法や句法などの言語事項の学習を経たのち、作品を分析・読解し、作品の書かれた時代や環境など、作品成立の背景への理解を深めてゆく。

社会生活上必要となる、実用的な文章を書く方法を学んでゆく。

また、1年間を通して漢字テストと読書を行う。授業では、ほぼ毎回プリントを配布するので、順番にファイル管理していく必要がある。

到達目標

(1)評論の文章を正確に読み取り、筆者の主張を的確にとらえることができる。
(2)文学的文章を客観的に分析・読解した上で、自己の鑑賞を深めることができる。
(3)実用の目的に応じた、的確な文章を書くことができる。
(4)聴衆に分かり易く、自分の考え方や意見を発表することができる。
(5)中国の歴史、思想に関する理解が深まり、日本の思想、文化への影響について理解することができる。
(6)漢字・故事成語・慣用句などの語彙力が拡がる。

評価方法

①定期試験(中間・期末試験)、②漢字テスト、レポート及び提出物により評価する。各定期試験の評価は、①60%、②40%とし、前期・後期、計4回の評価の平均を学年末の成績とする。国語Ⅱ[3単位]の最終評価は、国語Ⅱ(現代文・漢文)[2単位]と国語Ⅱ(古文)[1単位]を2:1として総合的に評価する。

学習・教育目標	(G)①	JABEE基準1(1)	

授業計画

回	項目	内容
第1	ガイダンス 随想①	1年間の国語の授業概要・到達目標・成績評価方法等を、シラバスをもとに説明する。
第2	随想②	筆者の主張を読み解く。 筆者の主張に対して、自分の意見をまとめる。 語句の意味や用法を理解する。
第3	随想③	
第4	詩① 実用の文章・手紙①	詩を分析して、情景を捉える。 詩を構成していることばに注目して、読み解く。 分析・読解の成果を踏まえて、詩を朗読する。 詩の作者や代表作について理解する。
第5	詩② 実用の文章・手紙②	
第6	詩③ 実用の文章・手紙③	目的に応じた手紙の書き方を説明する。 手紙を書いてみる。 手紙についてスピーチをする。
第7	短歌	短歌を分析して読み解く。 短歌の詠まれた状況や時代背景を理解し、鑑賞を深める。
第8	中間のまとめ	前期の中間のまとめとして、試験を実施する。
第9	小説①	作中場所・作中時間・作中人物に注目して、文学的文章を分析しながら読み解く。
第10	小説②	
第11	評論①	接続詞に注目して、文章の構造を捉える。 指示語に注目して、文章の意味を正確に捉える。
第12	評論②	
第13	漢文① 実用の文章・広告①	漢文の訓読法を確認する。 基本的な句法について確認する。 中国の史伝を読む。 中国の史伝や作者について知る。
第14	漢文② 実用の文章・広告②	
第15	漢文③ 実用の文章・広告③	広告文の特色と書き方を説明する。 広告文を書いてみる。 広告文をもとに発表する。
第16	評論③ 小説③	文章のキーワードを見つける。 キーワードに注目して、段落の中心文を探す。 段落毎に、文章を要約する。
第17	評論④ 小説④	比較・対照されている事象に注目しながら、読み解く。 文章中に例示されている事象と、自己の知識・経験とを照合する。
第18	評論⑤ 小説⑤	
第19	評論⑥ 小説⑥	作中人物の心情の推移を追跡し、読み解く。 作品の内容を要約する。 作者や他の作品について知る。
第20	漢文④ 実用の文章・報告①	中国古代の思想書を読む。 漢文を音読する。 論旨を捉える。
第21	漢文⑤ 実用の文章・報告②	報告文の書き方を説明する。 報告文を書いてみる。 報告文をもとに発表する。
第22	漢文⑥ 実用の文章・報告③	
第23	中間のまとめ	後期の中間のまとめとして、試験を実施する。
第24	漢文⑦ 実用の文章・報告④	中国の思想書や作者について知る。 中国の思想や文化への理解を深める。 中国の思想と日本の思想との関わりを考える。
第25	漢文⑧ 実用の文章・報告⑤	報告文を書いてみる。 報告文をもとに発表する。
第26	評論⑦ 小説⑦	文章の論旨をまとめる。 筆者の主張に対して、自己の意見をまとめ、表明する。
第27	評論⑧ 小説⑧	作品の主題を捉える。 表現の細部に注目して、鑑賞を深める。 作中人物や主題に対して、自己の感想や意見をまとめる。
第28	評論⑨ 小説⑨	
第29	評論⑩ 小説⑩	
第30	総括	1年間の学習事項について確認する。 授業評価アンケートを行う。

関連科目	国語Ⅰ
教科書	現代文　新訂版(筑摩書房)・新編古典(筑摩書房)
参考書	『ステップアップ高校漢字問題集(東京書籍)・カラー版新国語便覧(第一学習社)・国語辞典
副担当教員	
授業評価・理解度	最終回に授業評価アンケートを行う。
備考	プリントを管理するバインダー・ノート等を各自準備すること。ほぼ毎時間、授業のはじめに漢字テスト・読書を実施する。授業時に読む本を持参すること。国語Ⅱ[3単位]の最終評価は国語Ⅱ(現代文・漢文)と国語Ⅱ(古文)を2:1として総合的に評価する。